

発 言 者	発 言 内 容 (開会 午後1時30分)
課 長	開会挨拶
課 長	<p>本日の会議について、2委員は欠席となります。</p> <p>委嘱状交付(机上に配布)</p> <p>大口町高齢者サービス調整会議設置条例に基づいて新任の委員に委嘱状を交付させていただく。介護支援専門員連絡会議代表の吉永委員の任期は令和3年3月31日までとなります。</p>
新 任 委 員	挨拶
課 長	資料確認 議題に入る。
委 員 長	<p>開会挨拶</p> <p>議題(1) 第8期介護保険事業計画「骨子」について、事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>第8期介護保険事業計画「骨子」について、資料No.1に基づき説明。</p> <p>計画策定の背景と趣旨、計画策定の方法、基本理念、基本方針(国から示されている6つの柱)について説明。</p>
委 員 長	何か質問や意見はあるか。
	(意見なし)
委 員 長	議題(2) 第8期介護保険事業計画「基本計画」について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>第8期介護保険事業計画「基本計画」について、資料No.1に基づき説明。</p> <p>第7期から新たに追加された内容や今回改めて共有させていただきたい内容を中心に説明。基本方針1では平成30年7月に地域包括ケアシステム推進協議会を設置したことから、「設置」から「充実」へ変更している。地域包括ケアシステムの推進では「人生会議(ACP)の普及」について、地域共生社会の実現に向けた取組みでは「伴走型支援」について、高齢者の住まいの確保では「高齢者に配慮した住宅に関する情報提供」について、高齢者が安心して暮らせるまちづくりの推進では「災害対策の充実」と「感染症対策の充実」については、今回の計画から初めて載せさせていただいた。</p> <p>基本方針2では、訪問型サービスD(移動支援)は今後ますます必要となってくる。また可能な限り訪問型サービスB(住民主体による支援)や通所型サービスB(住民主体による支援)を充実させていきたいと考えている。</p>

	<p>基本方針3では、地域高齢者のサロンや世代間交流を応援していきたいと考えている。また、高齢者が安心して活動できる環境づくりでは、外出支援サービス事業では、高齢者実態調査のアンケート結果に基づき、来年度以降からの見直しを検討している。</p> <p>基本方針5では、認知症初期集中支援チームの「設置」から「充実」になっている。また、「若年性認知症の人に対する支援の充実」を今回の計画から載せさせていただいた。</p>
委員長	<p>資料No.1について、第7期の計画と比べて大きく変わったということではないが、人生会議(ACP)など新しい項目も加わっている。何か質問や意見はあるか。</p>
委員	<p>8050問題とはどういったことか。</p>
事務局	<p>高齢者宅に支援に入ると、80歳と50歳の親子で障がいを抱えているとか外に出られないといった問題で支援が必要な家庭のこと。</p>
委員	<p>これまでは引きこもりなど、親が子どもを支援してきたが、親自身も高齢や体調に不安が出るようになり、社会全体の問題として取り上げられてきた。8050の家庭を支援していくなかで、行政の課題として50歳の子に対する支援について大口町ではどのような支援があるか。</p>
事務局	<p>8050の課題になると、高齢者担当だけでなく同じ部局の中に障がい担当や生活困窮担当もあり、地域包括支援センターでは高齢も障がいも窓口一本で相談に応じていただける仕組みになっているので、その家庭をどうしていくか、ファミリーを見せていただきながら支援していく体制が整っている。</p>
委員	<p>主人も自分も年を取っていく中で、この先どうなるんだろうという不安はある。</p>
委員	<p>8050は同居が多いのか。老々介護や70歳代の夫婦二人暮らしも多いと思う。大口町ではどのくらいいるのか。老々介護のようなそのような状態になる前に元気なうちにケアが必要と思う。</p>
事務局	<p>大口町の住民基本台帳上では、75歳以上だけでお住いのかたが400世帯くらいあるが、地域の民生委員さんやお近くの皆さんに見守りが必要とされる方が250世帯くらいある。最近は高齢夫婦だけの世帯でなく、親子での高齢世帯も増えてきている。</p>
委員	<p>介護医療院とはどのようなものか。</p>
エディケーション	<p>介護保険の施設には、介護老人福祉施設(特養)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設(療養病床)があり、病院で高齢者に特化し介護保険で見ているところであり、制度が変わる中で呼び名が「介護医療院」となる。</p>

委 員	高齢者の方との関わり方で健康推進員としておこなっていることは、地域の活動に一人でも多くの方に参加してもらうため呼びかけをしている。コロナ禍の中で参加してもらうことは難しいが、それによって地域のまちづくりに役立っていくのではないかと思う。
委 員	避難行動要支援者名簿について、平成29年6月から民生委員が主体となって名簿登録に取り組み3年になるが、現在185名が登録されている。その内、災害時に避難所へ誘導していただける地域支援者がいない登録者が121名いる。民生委員は支援の確保のために呼びかけをおこなっている。
委 員	8050問題について保健所で言えば、精神障がいの方を医療につなげるところまでになる。生活保護では包括や大口町と連携をとってやっていきたいと考えている。
委 員	高齢者の就労機会の確保と介護人材確保はつながっていくと思う。介護人材が不足している中で、どう上手く繋げていけるか課題に感じている。
委 員	オーラルフレイルと言うが、年齢とともに弱っていくため、今年から保健センターの歯周病予防検診に75歳以上の方が対象に加わった。地域包括ケアシステムに関わってくる研修にも歯科医師会として頑張っていきたい。
委 員	<p>医師会として今取り組んでいるのは、コロナウイルス感染症の検査ができるように尾北管内の医療機関でどのように確保していくか。手を挙げた医療機関もいくつかあるが、すごく流行したときは検査体制が整わないという状況ではいけない。</p> <p>計画の中で、認知症初期集中支援チームの充実という目標があるが、大口町では何例かあるのか。</p>
地域包括支援センター	13件くらいある。6か月という期間の中で、サービスや医療につなげるが、家族や本人の意思でなかなかサービスに繋ぐとできないという問題は出てきている。期間が過ぎても地域包括支援センターで見守りは続け、引き続き様子を見てサービスに繋ぐことができそうなときは、また改めて初期集中支援チームでアドバイスをもらいながら、サービスや医療に繋げる活動をしている。
委 員	第8期の特に町として力を入れていくところ、アピールしたいところが太字になっていると見た人が分かりやすいと思う。その中で、伴走型というのが一つの柱になると思うが、体系の後くらいにポイントとしてあると良いと思う。
委 員	一つの家庭に入ると、その方だけでない課題が多く、介護サービスだけで解決できないことが多々あると感じている。伴走型支援体制の構築というのも本当にそうだなと思うし、ケアマネジャーにも障がい分野など介護

	保険ではない知識を求められることも多く、多職種連携が求められているのは強く実感している。
委員	コロナ禍の中でも包括に相談できるように3密にならないように配慮して少しずつでも訪問し介護者の支援をしている。
副委員長	寄り添い型というのはなかなか難しい。今年も災害ボランティアセンター設置訓練を計画しているが、コロナ禍の中では難しい。日頃の活動でも3密を避けながら介護職員も苦勞しながら対応している。社協として広い範囲で寄り添っていきたいと考えているので、支援をいただきながら活動を広げていきたい。
委員長	議題(2) 資料No.2 について、事務局より説明をお願いします。
エディケーション	大口町第8期の介護サービス事業量及び保険料の推計について資料No.2に基づき説明。 保険料の算定について考え方を共有させていただきたい。保険料が決まるまでの流れ、手順について人口や被保険者数、認定者数、サービス利用者数、給付費などの推計値により決まっていくことを説明。
委員長	資料No.3 について、事務局より説明をお願いします。
事務局	保険料の基準額を決める元となる数値について、事務局として考えていることを資料No.3に基づき説明。 第7期では、保険料を月額基準額4,041円に対し、保険料段階を11段階に設定し保険料率を掛けているが、大口町では比較的、所得の多い方が多いので、第8期では所得に応じた形で9段階以降の段階を15段階くらいまで増やしていきたいと検討している。
委員長	議題(3) 外出支援サービス事業の見直しについて、事務局より説明をお願いします。
課長	資料No.4に基づき説明。 高齢者の外出を支援するため、タクシーの初乗料金を助成しているが、高齢者実態調査のアンケート結果に基づき、新年度からコミュニティバス回数券も利用者の状況に応じ、選択できるように見直しを検討している。また、新規事業として運転免許返納者に対しての外出支援も併せて検討している。
委員長	議題(4) その他 介護予防支援事業所の委託状況について、事務局より説明をお願いします。
地域包括支援センター	委託先別請求実績について資料No.5に基づき報告。
委員長	議題(4) その他 指定居宅介護支援事業所の指定更新について、事務局

	より説明をお願いする。
事務局	指定居宅介護支援事業所の指定更新について、資料No.6に基づき説明。 大口一期一会ケアプランセンターより、今年11月末をもって指定有効期間が切れることから、更新指定の申し出があり指定更新をしたことを報告。
委員長	議題(4) その他 指定地域密着型サービス事業所・指定地域密着型介護予防サービス事業所の指定更新について、事務局より説明をお願いする。
事務局	指定地域密着型サービス事業所・指定地域密着型介護予防サービス事業所の指定更新について、資料No.7に基づき説明。 犬山市にある地域密着型のデイサービス、あいえんの輪から指定更新の申請があり指定更新をしたことを報告。
事務局	次回の高齢者サービス調整会議の日程は12月18日(金曜日)でお願いしたい。
委員長	閉会挨拶 (15時10分)